

農業委員 本人による応募の状況(令和8年4月10日現在)

氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者等であるか	応募理由	農地利用最適化推進委員への応募の有無
					形態	耕作面積			
高橋 芳和	農業	67	男	昭和56年3月 東京農業大学農学部農業経済学科卒業 昭和56年4月～平成19年9月 千葉県経済連・全農千葉県本部 園芸・燃料・パールライス・資産管理の業務に従事 平成19年10月～現在 就農 平成29年7月～現在 農業委員	専業	68,096	ある	認定農業者及び農業委員3期の経験を活かし、耕作放棄地・遊休農地等千葉市内の農業・農地のおかれている状況を見直していかなければならないと思い、再度農業委員として活動してみたいと思い応募しました。	応募しない
小安 政夫	無職	74	男	平成18年～ 市川市経済部長 平成21年～ 市川市法務部長 平成23年～ 市川市総務部長 平成24年～平成27年 市川市商工会議所 専務理事 平成29年～ 民生委員・児童委員	耕作は行っていない	0	ない	農業及び農地の利用について関心を持っている。市川市経済部長の職にあった際には、農水産を所管していた。法務部長の職にあったときには、JA関係者と農業や農地について多くの話をさせていただいた。まだまだ元気なので、千葉市の農業委員会運営のお役に立てればと思い、応募した。	応募しない
野崎 邦子	農業	55	女	平成元年～平成16年 株式会社関電工 平成17年～平成22年 日本生命保険相互会社 千葉支社 平成22年～現在 農業従事	専業	34,000	ない	新規参入、遊休農地問題、農業の高齢化等、千葉市のみならず日本全体の農業の問題は明白であると思います。その一つ一つを自分の住む市町村から視野を向け、先輩方の貴重な経験や知識、意見をお聞きし、それぞれの課題に一つ一つ取り組みながら、新しい農業の橋渡しになればと思い応募させていただきました。	応募しない
猪野 敬幸	農業	46	男	平成14年4月～令和5年1月 千葉みらい農業協同組合 在籍 令和5年2月～ 就農 令和5年6月～ 株式会社タナモ・フォレスト 代表取締役 就任(森林資源管理及び土地管理業) 令和5年7月～ 千葉市農地利用最適化推進委員 就任 令和7年5月～ 千葉市森林組合 理事 就任	専業	47,000	ある	3年間、農地利用最適化推進委員として現場調整や農地集積に携わる中で、制度運用と意思決定の重要性を実感しました。現場で培った経験をより広い責任の下で生かすため応募いたしました。	応募しない
秋葉 重雄	会社員	67	男	2011～2026年 千葉市椎名ライスセンター 1981年4月～現在 千葉日産自動車(株) 現在パート社員	兼業	2,392	ある	南部土地改良区内にあり、農地所有者は高齢化、機械の老朽化が進み離農者がふえており、その受皿となっている。農業生産の基盤である農地の確保と農地中間管理機構の活用を進めたい。	応募しない
平山 泰朗	会社経営	54	男	平成11年12月27日～現在 株式会社おひさま総合研究所代表取締役/地域活性化事業、農学校の運営 平成17年4月～平成19年3月 NPO法人全国イーコマース協議会理事長/電子商取引の普及 平成19年4月～平成21年3月 経済産業省産業構造審議会臨時委員 平成21年8月30日～平成24年11月16日 衆議院議員 令和4年9月1日～現在 農事組合法人睦的ファーム代表理事/農業生産および農業経営(睦沢町認定新規就農者)	兼業	4,865	ない	千葉市では農業従事者の高齢化や荒廃農地の増加が課題です。農学校運営の経験を生かし、新規就農や参入支援を通じて担い手を増やし、農地保全と地域農業の持続的発展に貢献したく応募しました。	応募しない
大塚 秀行	農業	48	男	平成10年3月 中央工学校 卒業 平成10年4月～平成19年3月 五稜建設株式会社 入社(工事管理) 平成19年4月～現在 就農 令和4年4月～現在 東部地区出荷組合 会長 令和6年6月～現在 園芸連絡協議会 会長 令和5年7月～現在 千葉市農業委員	専業	115,000	ある	千葉市の農業現場で、培った、経験を活かし、担い手不足や、育成、農地の集約(地域計画の前進)といった課題解決に貢献したく応募いたしました。地域の声を施策に反映させ、持続可能な農業環境を築きたいと考えております。	応募しない
石井 一也	農業	41	男	平成15年～令和2年 県立大網高校 嘱託職員 平成19年 県立農業大学校 研究科 卒業 平成19年～現在 平川蘭業組合 石井洋蘭園、平川ライスセンター組合 就農 平成26年～現在 千葉市農業委員会委員 就任 令和4年～現在 千葉県農業士	専業	15,000	ある	幼いころより農村に育ち、就農して感じたことの一つに、農業従事者の超高齢化があります。休耕、耕作放棄が増えていることを悲しく思います。農業委員としての経験を引き続き活かし農地を守りたいと思い応募しました。	応募する
炭田 瑞枝	学生	70	女	昭和51年 和洋女子短期大学、卒業 令和4年～8年 法政大学人間環境学部 平成8年～令和3年 積水ハウス(株)営業アシスタント	兼業	3,000	ない	千葉市農業が抱える担い手不足や農地減少の課題に向き合い、農地を守り、持続可能な農業を次世代へつなぐため応募しました。都市近郊農業の強みを生かし農地の適正利用や新規就農支援に取り組み、地域の声を公正に受け止めながら農業振興に貢献する決意です。	応募しない

氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者等であるか	応募理由	農地利用最適化推進委員への応募の有無
					形態	耕作面積			
佐々木 貴史	農業	54	男	1994年3月 日本工業大学 卒業 1994年4月～2005年1月 タカノホーム(株)(現場管理業務に従事) 2005年4月～現在 家業にて就農 2015年～現在 株式会社若旦那ファーマーズ代表取締役社長 2018年～現在 千葉県農業士 現在 下田ふれあい交流施設 役員 有限会社ブリッジ 代表取締役社長 現在 JA千葉みらい 理事	専業	400.621	ある	今、私が農業を営んでいる若葉区更科地区には若手農業者(新規就農者等)が多数います。しかしなかなか日々の農作業が多忙で情報収集や行政に意見を発する機会がないのが現状です。私の場合息子2人も就農し、又、従業員、パートの方も安定し、日々の業務を任せられるようになってきました。 今まで地域農業を支えてきた先輩方や現役若手農業者の推薦もありこの地域の農業の発展、後継者が農業を営む環境維持、若手農業者の意見の集約、耕作放棄地の解消等に貢献できればと思い農業委員に応募します。 私が、他業種から農業参入して、これまで培ってきたノウハウ、実績を農業委員という立場で若手農業者、新規農業者、新規参入法人へ伝えていければと考えたからです。	応募しない
脇田 章子	農業	57	女	平成元年4月～平成5年12月 (株)千豊 平成6年4月～平成11年12月 明治製菓(株)薬品総合研究所(派遣社員) 平成24年～現在 就農 令和3年4月～令和4年3月 加曾利子ども会会長 令和5年7月～ 千葉市農業委員	専業	4.071	ある	農業委員を一期務め、農地の適正利用や課題について学びました。その経験を活かし、遊休農地の解消に向けた対策を立て、千葉市の豊かな農業環境を次世代へとつなげたいと思いました。	応募する
横山 清亮	弁護士	55	男	平成15年～ 弁護士登録(現:千葉県弁護士会) 平成22年～令和2年 千葉市民局指定管理者選定評価委員会委員 平成23年～平成24年 千葉県弁護士会副会長 平成24年～平成28年 千葉簡易裁判所民事調停官 平成29年～ 千葉市農業委員会委員 平成30年～ 木更津簡易裁判所民事調停委員 令和2年～ 成田市入札等監視委員会委員	耕作は行っていない	0	ない	これまで3期に渡り農業委員を務めさせて頂きました。この間にも農業を取り巻く環境は大きく変化し、その多くは農業によって逆風となる事情であると思われます。農業委員会は農業生産力の増進、農業経営の合理化を図り、農業の健全な発展に寄与することを目的としており、微力ながら引き続きその一員となることで法目的に貢献したいと考え応募した次第です。	応募しない
齊藤 憲次	農業	60	男	2011年1月～2012年3月 千葉市就農研修生 2012年4月～現在 千葉市若葉区中田町で営農	専業	6.384	ある	2011年千葉市の新規就農研修生から14年が経過し順調に経営が続いています。この経験を活かしこれから就農する研修生や希望者にとって良き相談先研修先として、空き農地の情報提供などで今後も支援していきたいと考えます。また更科地区の農地利用最適化推進委員とともに益々増加する空き農地の有効利用を斡旋できるよう地域に協力したいと考えます。	応募しない
長谷部 衡平	農業不動産管理業	81	男	平成5年 千葉市PTA連絡協議会会長 平成5年 千葉市社会教育委員 平成元年 全国政令指定都市PTA会長 平成元年 日本PTA全国協議会常務理事 平成3年 大宮水利組合長 坊谷津農事組合長 平成21年～ 千葉市農業委員	兼業	5.557	ない	農業の問題は長年言われ続けている担い手不足、後継者不足、従事者の高齢化更に近年は気候や気温変化など様々なケースが山積みです。私は以前より新規参入者を増やし、外国人労働者も受け入れつつ、まずは農業全体がバランスのとれた職業としてみとめてもらえるようになることです。	応募しない
秋庭 重樹	会社役員・農業	73	男	2004年7月1日～ 農事組合法人グリーンライフ千葉 代表理事 1990年6月26日～ 株式会社マルハチ 代表取締役	兼業	23.000	ある	『千葉市の遊休農地・耕作放棄地に歯止めをかけていかなければ』の思いは前回と同様です。今まで蓄積した知識、そして農業委員で知り合った同志との繋がりを大事にしながら、これらの問題に引き続き取り組んでいきたいと思い応募しました。	応募しない
嶋田 洋子	農業手伝い	54	女	1991-1992 (株)改造新聞社 1992-1997 カナダ 大学留学 1998-2000 (株)アートディング 2001-2003 (株)S/Project経営 2017 新規就農プログラムから営農	兼業	800	ない	新規就農から始めて9年目です。地域農業の現実を見てまいりました。問題点も多く解決の糸口が見えないまま、千葉市が掲げる理想的な地域社会とはかけ離れた部分があります。今後農業をやっていく中で、少しでもより目的意識を持ち、共同体の一部となって共に考えていきたいと思うようになりました。理想と現実を少しでも近づけられるように参加させていただきたいと思いました。個人農家としては食の安全を第一に営農しております。よろしくお願いたします。	応募しない

氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者等であるか	応募理由	農地利用最適化推進委員会への応募の有無
					形態	耕作面積			
今井 由紀子	農業	56	女	平成2年 東京家政学院短期大学部卒業 平成2年～平成7年 トヨタビスタ北千葉(現ネットヨタ東部)勤務 平成17年～令和元年 生活協同組合ちばコープ勤務 食育担当 令和元年～現在 就農 千葉県女性農業者ネットワーク理事 千葉県立農業大学校外部講師(加工実習) 令和3年～現在 千葉市農政推進協議会委員	兼業	16,000	ない	千葉市の農業にとっても興味があったため。都市部に近く流通にも恵まれてとても良い場所だと思っています。しかし離農者が増え耕作放棄地が増えています。景観や食料を守るためにも千葉市の農業の現状を知り少しでも良くしたいと思い応募しました。	応募しない
木島 信俊	無職	68	男	1981年4月～2004年6月 川崎製鉄(株)(現JFEスチール(株))人事・営業・総務 2004年7月～2009年12月 川崎マイクロエレクトロニクス(株)人事、営業総括 2010年1月～2012年3月 JFE物流(株)人事部長 2012年4月～2014年3月 倉敷運輸(株)総務、人事、安全衛生担当役員 2014年4月～2021年3月 JFE東日本ジーエス(株)セキュリティ事業部、京葉事業部担当役員 2022年6月～現在 認定特定非営利活動法人経営支援NPOクラブ金融機関チームリーダー	耕作は行っていない	0	ない	1989年に土気に転居して以来、美しい農地・山林に目を奪われてきました。会社勤めを卒業してからはNPO法人にて中小企業の経営支援、次世代育成支援活動に携わっておりますが、これまでの経験を生かして産業と環境のバランスの取れた地域社会の発展に寄与したく応募しました。	応募しない
芳澤 和哉	農業	36	男	2012年～2014年3月 東京農業大学大学院 修了 2014年～2015年3月 株式会社三祐コンサルタンツ、社員・国営事業の経済効果算定やCAD/GISを使った土地管理業務を担当 2015年～2020年5月 株式会社三祐コンサルタンツ海外事業本部、社員・農業方針(マスタープラン作成)や栽培指導を担当、ベトナムやザンビアなどの途上国で業務にあたる。 2020年6月～現在 Y'Sagri合同会社設立、代表社員・イチゴ観光農園を軸に農業振興を目指した活動を実践中。新規就農支援や企業の技術指導に携わっている。	自家消費	11,330	ない	千葉市の農業発展と持続可能な生産体制の構築に貢献したく志願いたします。前期3年間の活動を通じ、新規就農者支援の重要性を痛感しました。これまでの経験を礎に、より専門的な知見を深め、若手生産者が定着しやすい環境づくりに一層尽力する所存です。	応募しない
清宮 恵理子	農業	70	女	昭和53年 千葉大学人文学部法経学科経済学専攻 卒業 昭和53年～昭和56年 株式会社学習研究社(人事部、主に採用・社内研修に従事) 昭和56年～57年 千葉県立教員養成所入所 昭和57年～平成2年 千葉県教職員に就職(千葉市立都小学校、磯辺第一小学校に教員として勤務) 平成2年～平成5年 株式会社サンケイリビング新聞社に就職(編集部員、総武山の手リビング編集長、編集部にて取材、編集に従事) 平成5年～平成7年 株式会社キューセイメディアに就職(千葉県民共済の広報部門として取材、編集に従事) 平成7年～平成27年 フリーランスのライターとして扶桑社、産経新聞社営業局などの仕事に従事 平成24年 就農	専業	4,000	ない	農業委員として3期、千葉県女性農業者ネットワーク千葉地区役員として6年、女性農業者の環境改善などを目指して交流に取り組んだ。その結果、自身が思う問題点や課題を次期女性農業者と共に取り組みたいと考えた。	応募しない
渡辺 奈月	業務改善・人事コンサルタント	49	女	2000年 早稲田大学卒業 2000年3月～2001年12月 アクセンチュア株式会社就職(主にIT、業務改善コンサルティング業務に従事) 2002年1月～2003年3月 シティグループ証券に転職(主に分析業務に従事)、その後留学 2005年10月～現在に至る 会社勤務の後、個人事業主として業務改善・人事コンサルティング業務に従事	耕作は行っていない	0	ない	市議会を傍聴し、市民として地域に貢献したい思いが強まりました。農地の適正利用を守る農業委員の役割に共感し、私の分析力と調整力を生かして、千葉市の農地利用最適化に中立的立場から貢献したいと考え応募しました。	応募する
千葉 康晴	農業	55	男	1991-1998 日立プラント建設研究所研究補助 1999-2001 アクティブ(株)システムエンジニア 2002-2006 自営ECコンサルタント 2006-2019 (株)ネットワークス代表取締役社長 2019～ 専業農家 2020～ 農地利用最適化推進委員	専業	12,854	ある	今期は推進委員の末席として活動してまいりましたが、2期活動することにより、以前に比べだいぶ農政の理解が深まったと思います。今期は、さらに幅を持ちたいと考えており、農業委員を希望いたします。	応募する